

オーディオセッション in Osaka 2021 報告(2021.11.13)

オーディオセッション in Osaka 2021 は 11 月 13 日から 14 日まで心齋橋ハートンホテルで開催されました。昨年はコロナ禍で中止になり、本年も大阪ハイエンドショウが中止になる中、オーディオセッションは開催の運びとなりました。



2. デモの概要

今回の開催は例年と違って新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からインターネット事前予約が必要です。

オーディオセッション記事

<https://www.phileweb.com/news/audio/202110/15/22828.html>

オーディオセッションサイト

<http://audiosession.main.jp/>

申し込みサイト

<https://eventregist.com/e/audiosession>

公式サイトからの事前予約は 1 時間ごとに来場時間の予約ができますが、一人 3 時間以内をめどに観覧してほしいとのことでした。国内メーカー、輸入代理店など全 17 社が出展、話題の新製品などを試聴できました。出展社と製品のブランドは次のとおりです。

階	会場	出展会社	取り扱いブランド
5F	565	<u>トップウイング・サイバーサウンド・グループ</u>	iFi audio、M2TECH、TELOS Audio Design、SONORE、XI Audio、TIEN Audio、TOP WING
	ルピナス	<u>ソニーマーケティング</u>	SONY

	オーキッド	<u>デンソーテン</u>	ECLIPSE
		<u>JVC ケンウッド</u>	JVC
4F	457	<u>アイ・オー・データ機器</u>	fidata、I-O DATA
	465	<u>オーロラサウンド</u> <u>Wefield ウィンテスト</u> <u>ズートコミュニケーション</u>	Aurorasound、amphion、Analog Relax
	カトレア	<u>Technics</u>	Technics
	アゼリア	<u>協同電子エンジニアリング</u>	Phasemation
		<u>CS ポート</u>	CS ポート
3F	357	<u>クリプトン</u>	KRIPTON
	365	フォース (<u>カジハラ・ラボ</u> 、 <u>サエック</u> <u>コマース</u>)	IKEDA Sound Labs.、SAEC、SUPRA、 MUTECH、KAJIHARA.LAB
	菊	<u>トライオード</u>	cocktail Audio、CROSSZONE、 JUNONE、KRONOS、M&M DESIGN、 PSVANE、SPENDOR、TRIODE
		<u>ナスペック</u>	AudioNec、Blue Horizon、IsoTek、 Monitor Audio、Primare、Playback Designs、Roksan、Vienna Acoustics
	桜	<u>エイ・アンド・エム</u>	AIRTIGHT、CRITICAL MASS SYSTEMS、 MOERCH、TRANSROTOR
		<u>テクニカルオーディオデ バイセズ</u>	TAD
2F	松	<u>ディーアンドエムホール</u>	Dennon、DALI、KIMBER KABLE、

		ディングス (<u>DENON</u> ・ <u>MARANTZ</u>)	MUSIC TOOLS、Marantz、Bowers&Wilkins、audioquest、Pro-Ject、CLASSE、POLK
	風	ハーマンインターナショナル	ARCAM、JBL、Mark Levinson

滞留時間を短くすることとし、1時間の枠のみ予約を取り、興味のある出展に絞って試聴してきました。

IO データ機器



じっくりと音質確認を行ったのはここだけで、新製品のトランスポート HFAD10-UBX と Sforzart の LAN DAC の DSP-PAVO の組み合わせの Diretta 転送により、UBX と PC 用の CD ドライブの比較を試聴しました。ピアノとヴァイオリンの CD 再生を聴きましたが、PC 用の CD ドライブに比べ、一言でいうと UBX は、ピアノはよりピアノらしく、ヴァイオリンはよりヴァイオリンらしく聴くことができました。なお、部品の供給の関係で発売は遅れているとのこと。また、fidata による Spotify のサポートは、Spotify のロスレス化を待っているとのことでした。

テクニクス



新製品のプリメインアンプとスピーカーのデモが行われていました。

https://panasonic.jp/topics/2021/11/000000540.html?_ga=2.116097921.62695017.1636758567-144481464.1628996651

協同電子エンジニアリング





新製品のフォノイコとトランスが現行製品とともに展示されていました。音出しは 6 躯体の EA-2000 と試作品の UV211 で行われていました。プレイヤーはテクニクスのターンテーブルと GLANZ のアームで、アッセンブリーも GLANZ で行ったということでした。

フォース (カジハララボ・サエクコマース)



イケダのアーム (左) とサエクのアーム (右) を並べて試聴するという面白い企画のデモでしたが、時間の関係で比較試聴はできませんでした。

トライオード



新発売の Western の 300B の展示があり、説明を聴いてきました。新たに構築した製造ラインによる安定的な供給体制が整い、品質や保証体制にも充実しているということでしたが、最初のロットは完売ということでした。この Western の 300B の Quad 構成のアンプの試聴が、予定されていましたが、時間が合わずに試聴できませんでした。できれば購入を検討したいと思っております。

なお、以上に関して、下記サイトに早速、速報が出ておりますので、併せてご参照ください。

<https://www.phileweb.com/news/audio/202111/13/22912.html>

<https://www.phileweb.com/news/audio/202111/13/22911.html>

<https://www.phileweb.com/news/audio/202111/13/22910.html>

以上